

### 豊かな感性で ニットの可能性を広げる



おしゃれ生活、応援します。

業 種：ニット製造  
資 本 金：8,895万円  
取扱品目：ニット婦人外衣、ニット紳士外衣

代表取締役社長 坂田 政元  
〒954-0111 見附市今町7-14-34  
TEL(0258)61-2000 FAX(0258)66-4774  
URL <http://www.maxknit.co.jp/>

全国でも有数のニット製造産地である見附市。この地では、これまでファッション性に富み、優れたニットが数多く製造されてきた。しかし、低価格な中国製品の増加、短納期、そして消費者ニーズの変化など業界では厳しい逆風が吹いており、各ニットメーカーは新たな取り組みを模索している真っ只中。

そうした中、マックスニットは「いち早く消費者のニーズを掴み、生産に繋げる」を課題に、これからのニットへ期待をかける。

#### 消費者のニーズ、市場の動きにいち早く対応

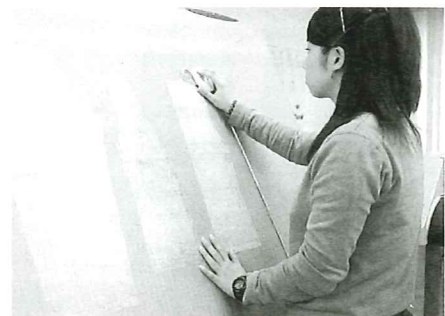
マックスニットでは、見附市と上海の工場ではレディースとメンズのニットの年間約60万枚製造する。そのうち、本社のある見附市の工場では、「INDIVI」や「OZOC」などヤング、キャリアのレディースから高い支持を集める有名ブランドのニットの約40万枚製造している。めまぐるしく変化するレディースのファッションは、短納期で小ロットが多く、ニットメーカー側にとっても生産が難しいところ。「流行に敏感に対応するために、消費者のニーズをいち早く掴み、スピーディに市場に出す」（坂田社長）。そのため、同社では直接小売の動向が把握できる体制を今後さらに強化していく。



▲坂田社長

#### デザイナーの想いが伝わるニット

「ファッションづくりにおいて、人の感性はとても重要」と坂田社長が言うように、マックスニットの製品はシルエットや風合いに優れている。その理由の一つは、平面上のデザイン画から立体的なパターン（型紙）を作成するパタンナーの技術力。レディースニットを製造し始めた20年程前から、まだニット業界では少なかったパタンナーをすでに採用しており、デザイナーがイメージしたとおりのニットを作り上げてきた。そうした技術力が、着心地が良く、体の線がきれいに見えるような高品質で、感性に優れたニットを生み出している。



▲パターン・メイキング

#### 短納期の応える見附と低コストを可能にする上海

マックスニットの見附工場では、TSSと呼ばれる立ちミシンによる一枚流しシステムを導入し、レディースのニットを中心に製造。一方、平成8年4月から稼働している上海工場では、メンズのニットを中心に日本国内では難しい製品の加工やコストを重視した製造を行っている。同社では、この日本と中国の棲み分けによって、スピーディかつコストパフォーマンスの高い生産体制が確立されている。



▲TSSシステム